

NEW DENTAL SALON

お知らせ

最近の歯科医師会役員会

トピック

栃木市四師会

BLS 講習会

歯科医師会と私

福田 貞男 先生

上野 忠之 先生

業者からの耳より情報

株式会社 アマガイ

これからよろしく

早川 大地 先生

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大で歯科診療のみならず、医院経営にも不安を抱える先生も多いと思います。そんなコロナ対策で大変な状況の中、何とかこの春夏号を発行することが出来ました。青木さん、田熊さんはじめ、広報委員会の先生のご尽力に感謝申し上げます。「止まない雨はない」、「明けない夜はない」そう信じて、一刻も早い収束を願ってやみません。

広報担当理事 清野栄治

ネット配信広報誌第10号 2020年春夏

最近の歯科医師会役員会

新型コロナウイルスの感染拡大はますます猛威を奮い、ついに安倍総理による全国都道府県の緊急事態宣言が発令、さらに期日延長まで宣言される事態となっております。

栃木県内も日毎に感染者が増加していき、感染者の多い栃木市においても大川市長による緊急事態宣言が発令されました。下都賀歯科医師会の例年の事業（3月 臨時総会、5月 よい歯のコンクール、6月 歯と口の健康週間行事、むし歯ゼロ巡回指導、定時総会、7月 研修旅行、10月 市民公開講座、等）も中止となり、まさに自粛ムードです。

休日に一日中家にいる（STAY HOME）のはストレスが溜まりますが、今は辛抱ですね。しかし月イチの役員会は、事業計画に沿って（会員のためにも）開催せざるを得ません。最近では全員がマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保ちながら、こんな感じで開催しております。

70周年記念誌にて、会員の会への想い、そしていろんなご意見を有り難うございました。それらを参考に今後もやるべきことを頑張ってまいります



栃木市四師会 新年会

令和2年2月6日（木）栃木グランドホテルに於いて標記新年会が開催されました。この会は栃木市との協議会よろしく「栃木市内の医歯薬連携をお互いに顔の見える関係で密にする」という目的で、毎年2月初めに開催されるものです。

また昨年までは栃木市医師会、歯科医師会、薬剤師会の三師会でしたが、今年度からは下都賀看護協会の方たちも交え、四師会として開催されることになりました。当時はまだ新型コロナウイルスの感染拡大は無く、各会の理事全員の出席のもと総勢51名で盛大に開催されました。幹事は各会持ち回りで行われるのですが、今年度の担当は栃木市薬剤師会でした。

さて会の進行はそれぞれの会長挨拶の後、今年は薬剤師会担当なので、「アンチドーピングについて」の講演が行われました。この会の開催当時期は東京オリンピックの延期は決まっておらず、それゆえのテーマでありました。…といっても私・個人的には「我々歯科にとって何も関係ないでしょ？」と思っていたのですが、「じゃあ先生、あなたの歯科医院に来院された患者さんが、もし国体やオリンピックに出るようなアスリートだったら、どうしますか？処方する薬がスポーツで禁止されていないかを、ご存知ですか？」と問われ「なるほどな〜！」と考えさせられました。とはいえ、講演を聞くと歯科で処方する主な薬剤はほとんどドーピングに値せず、OKのようです。治療で使うポピドンヨードをはじめ、含嗽用ハチアズレ、デキサルチン軟膏、抗生剤ではクラリス、クラビット、ケフラール、サワシリン、ジスロマック、ミノマイシン等々、鎮痛剤ではカロナール、ボルタレン、ロキソニン等々、すべて使用可能です。ただし、心配な先生は処方する薬が「スポーツで禁止されていないのか？」を「JADA 医療」で検索するとWebサイトで確認できるので、ご活用くださいとのことでした。



ちなみに、当会において担当した最近の講演をご紹介しますと・・・

H24.2.8 須賀 潔先生

「訪問診療における医療連携を考える」

H27.2.5 上野泰宏先生

「ビスフォスフォネート系薬剤に関連した顎骨壊死」

H30.2.8 岡本昌樹先生

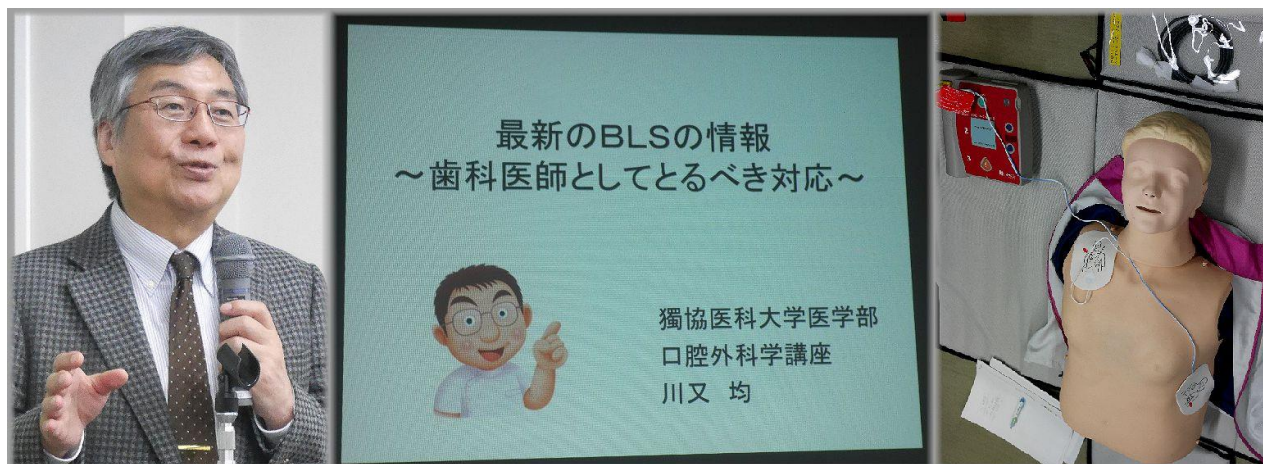
「歯牙酸蝕症～食習慣や唾液減少との関連～」 と、こんな感じです。

さて固い話が終わると、その後は四師会ならではの「本音ぶっちゃけ懇談会」となるのですが、今年はそれぞれの会長たちによる余興がありました。 当会からは臼井会長と君島先生が手を挙げ、会長は渋い（甘い？）声で2曲披露し、君島先生はそれに合わせ手話を披露して下さいました。 最後はアリスの「チャンピオン」です。 歌詞カードも配られ、参加者全員で「ライラ・ライラ・ライ！」と盛り上がりましたよ～！



BLS 講習会（ 医療管理委員会 ）

令和2年2月20日（木）、標記講習会が開催されました。このセミナーは独協医科大学口腔外科 川又 均 教授による「実習付きBLSセミナー」です。



BLS (Basic Life Support) とはご存知のように「心停止した人への一次救命処置」のことで、具体的には「質の高い心肺蘇生法 CPR (Cardio Pulmonary Resuscitation) を学ぶセミナー」ということで開催されました。CPR のガイドラインも私たちが学生時代に習った「ABC」の頃からずいぶんと変わり、今は気道確保や人工呼吸より、真っ先に心臓マッサージ（胸骨圧迫）です。

意識消失、頸動脈でも脈が触れないことが確認されたら、パニックを起こさず、周りを巻き込み、

- ① 誰かに救急車を呼んでもらう
- ② 誰かに AED を持ってこさせる
- ③ 誰かにこれからの時間と行ったことの記録をさせる（救急隊員に伝えます）

指示を出し、CPR は 10 秒以内には開始します。

胸骨圧迫の目安は 1 分辺り 100 回のテンポで、胸骨が 5 cm くらい沈むよう圧迫 30 回と人工呼吸 2 回のペースです。



実際には頭の中で SMAP の「世界に一つだけの花」を歌いながらそのペースでやると良い、との事でした。

そしてこれを繰り返し、蘇生しなければ直ちに AED の実行です。胸骨圧迫は中断するごとに心臓や脳への血流が減少しますから、救急車が来るまでこの 2 つを続けます。もちろん各歯科医院には AED や酸素ボンベ、そしてアドレナリンやアトロピンをはじめとする救急薬品を常備していると思いますが、突然の心停止や心臓発作の 70%以上が自宅や街中、つまり「病院外で発症している」そうです。確かに筆者の歯科医院も開業 55 年経ちますが、治療中はもちろん、待合室でも心停止した患者さんはいません。これはそれぞれの医院が緊急事態を招かないよう、治療にあたり事前にセーフティマネジメント（未然防止）を行っているからなのですが、だからといって今後も大丈夫とは言い切れません。

なのでこの手の講習会は歯科医師会としても定期的に行きたいと考えます。ぜひスタッフともミーティング等で内容を共有して下さい。

またネットでも消防庁による「一般市民向け応急手当 WEB 講習」を動画等で視聴できるのでとても有効ですよ！とのことでした。残念ながら出席できなかった先生方は、ぜひネット検索し、学んでみて下さいね！



歯科医師会と私

福田 貞男

私は壬生町緑町に開業しています。栃木街道沿いで獨協医科大学病院が在り、おもちゃのまち駅から徒歩約5分程度の場所に私の診療所は在ります。開業時はおもちゃのまちでは初めての歯科医院であり、その後一年間に次々二軒の歯科医院が開業しました。



私は開業と同時に下都賀歯科医師会に入会し、その当時は新井先生が支部長をなさっておられ、初めての支部旅行に御一緒させて頂きました。その時は山形県の山寺のとても長い急勾配な階段を登った記憶があります。新井支部長から、私を初対面の諸先生方に優しく丁寧に紹介して頂き、自分にとってリラックスした楽しい思い出の支部旅行となっています。その後支部旅行は毎回参加させて頂き全国の各有名地に行き貴重な体験をさせて頂きました。

支部旅行と共に下都賀支部には、私の入会当時から「栃木歯学研究会」と称する先生方の勉強会があり、その当時清野先生や落合先生の主導のもと、アットホームな雰囲気の中貴重な情報を得ることができたと私は思っております。開催場所は主に栃木市のハギノヤさんと、同じく栃木市の鯉保ホテルであったと思います。

支部旅行、栃木歯学研究会と共にゴルフの同好会にも支部入会当初暫くの期間参加させて頂きました。先輩の先生方の厳しい指導のもと、毎回下手と言われながらこりずに毎回参加していました。今となっては懐かしい思い出となっております。

以上思いつく儘述べてきました。この下都賀支部は、栃木市（小江戸）が中心とあって2代目3代目の先生が多く入会しておられ、何となく今でも下都賀支部全体にアットホームな雰囲気が漂っていると私は感じます。これからも下都賀支部のアットホーム感が長く続く様希望致します。

歯科医師会と私

上野 忠之

突然の原稿依頼でとまどっておりますが、順番という
こと、又歯科医師となり50年以上過ぎました、文章
を書くのが苦手ですが昔の事を思い起こしながらペ
ンをとることにしました。

昭和18年太平洋戦争中に壬生の地に生をうけ今年
喜寿(77歳)を迎えることができました。ふりかえ
ればその時々で一生懸命生きてきたお陰で、長いよう
でありあつという間に歳月が過ぎ去ったような気がし
ます。大きな病気一つせず健康でここまでこれたのも
家族の支えがあったからと深く感謝したいと思います。



さて、子供の頃を思い出してみますと野球が大好き
で、あのスーパースター巨人軍の長嶋選手に憧れ、将
来はプロ野球の選手になりたいそんな夢もありました。
小中学校では野球に打ち込み、投手で4番といういわ
ゆるワンマンチームを率いそこそこの成績を修めることが
できました。

高校に進み甲子園を目指す野球球児として毎日練習にあ
げられました。結果、県大会決勝で0-1で惜敗し悔し涙を
流したこともありました。作新学院が春夏連覇したそんな
時代でした。

歯科大に進み、当時は歯科大学も少なく東京に4校、全
国でもあわせて8校ぐらいだったと思います。

東京地区4校による春秋のリーグ戦と夏のオールデンタル
の大会がありました。歯科医になり地元に戻ってからは仲間
とチームを作り草野球を愉しましました。50歳になった
時に壮年野球で国体に行こうとはりきっていましたが、
試合中にアキレス腱を断裂し私の野球人生に終止符が
うたれました。

野球を通して同じ釜の飯を食べた仲間達とは深い友情
で結ばれ、強い絆があり今でも交流が続いています。

又、気持的にはまだまだ若いつもりでも体の衰えをつ
くづく感じた時期でもありました。

さて、昭和45年に父が病に倒れ急遽地元に戻って
きました。

現在下都賀の会員数は100人位ですが、当時は25人
位の人数だったと思います。その頃は患者さんの数も
多く、朝早くから順番待ちし長時間待つ短時間の診
療時間というそんな時代でした。現在はほとんどの先
生が予約診療を行っておりますが、当時は夜8~9時
頃迄診療していた記憶があります。

30代には月曜日から土曜日迄働き、休日は子供達
と一緒に外出することが多く、近

くの公園や遊園地たまに旅行と家族で過ごす時間を大切にしました。

40代になると会の役職がまわってきて、故高際徳之進先生の元で理事を故添野典也先生の元で監事を石川恵三会長の元で監事を務めさせていただきました。何も能力のない自分がどうにか職務をを務めることができたのも多くの先生方の協力のお陰と深く感謝しております。

又、楽しみは毎年の支部旅行でした。20年毎年産かさせていただきました。特に印象に残っているのは、飛行機嫌いな私が行った外国は韓国だけなので思い出があります。あとは沖縄とか北海道です。北海道では帰りに痛風を発症し歩けなくなり、やっとの思いで帰ってきた痛い思い出もありました。



自然の鼓動が聞こえる



伊豆シャボテン公園

県歯においては故新井武先生の元で社保の審査員、県歯の理事を務めさせていただき、他支部の先生との交流も深まりよき先輩にめぐりあい、同僚・後輩に恵まれ充実した日を送ることができました。

先生方の温かい協力と支援のお陰と改めて感謝しております。

還暦を迎えた時すべての役職を辞めました。学校歯科医だけは継続しております。古希を迎え院長を退き、現在は午前中昔なじみの患者さんと月に2人の訪問診療を行っております。のんびりと現役を続けております。あと何年仕事ができるかわかりませんが、体の続く限り診療に携わりたいと思っております。

又、今春 高2、中3、中1になる3人の孫達の日々の成長を人一倍楽しみにしている今日この頃です。

業者からの耳より情報

株式会社 アマガイ

ネクストビジョンとは・・・？

覗かないマイクロスコープ！！もちろん細部の根管まで見られる！

歯科医師・歯科衛生士、共に気軽に！

ワンタッチ押下で自動フォーカス！誰でも気軽に使用可能！！

4K×80倍（8倍～80倍）の圧倒的高画質！

今回オススメの商品は「ネクストビジョン」です。

図1. ネクストビジョン本体

図2. ネクストビジョン診療イメージ

ネクストビジョンは、口腔内カメラと顕微鏡の機能を兼ね備えたマイクロスコープです。口腔内カメラのように撮影画像がモニターに映し出せる仕組みで、最大倍率はなんと80倍。しかもいま話題の4K解像度なので、圧倒的な高画質画像がモニター上に表示できます。



図1. ネクストビジョン本体



図2.ネクストビジョン診療イメージ

メリット ①

「トレーニングがほとんど必要ない」

ネクストビジョンは被写体に鏡筒部を合わせるだけで、直視に近い感覚で映像を見ることができます。経験やトレーニングに依存することなく、どなたでもすぐに使いこなすことができるのです。

メリット ②

「接眼レンズをのぞき込む必要がない」

ネクストビジョンのマルチアングルは3軸アームになっており、治療部に鏡筒部を自由に位置づけることが可能です。接眼レンズを覗くこともなくなり、術者はいつもの自然の姿勢のままで治療ができますので、姿勢やポジショニングから解放されます。

メリット ③

「マイクロスコープ（手術用顕微鏡）として保険適用機器」

より高精度で高い効率的な診療のため、また他医院との差別化のために、導入をご検討なさってみてはいかがでしょうか。

最後に・・・

今なら(株)ヨシダの各拠点で体感会を実施しています。

弊社(株)アマガイでもご紹介できますので、まずは新たなシステムを先生ご自身で体感してみてください。

株式会社アマガイ

TEL：028 - 637 - 8611

佐藤 陽

これからよろしく

早川 大地

はじめまして。このたび歯科医師会に入会させていただきました、早川大地と申します。今回はこのような投稿の機会をいただきまして、関係者の方々に深く感謝いたします。

歯医者になろうと思ったきっかけはよく覚えていません。なぜなら幼い頃から父の姿を見てきたため、この職業は僕にとってはとても身近な職業だったからです。父や母は、僕に歯医者になれと明確に言ったことはなかったと思いますが、なぜか『歯医者さんになる！』と自分自身で言っていました。

僕の経歴ですが、国学院大学栃木高校から昭和大学(33期)を卒業し、現在は、東京医科歯科大学矯正歯科の大学院研究生として日々研究と臨床をさせていただいています。その中で外勤日をもらい、実家のクリニックを手伝わせてもらっています。

最近父と一緒に治療もするようになり、やはり臨床経験の差を痛感しております。技を盗み、早く父と肩を並べられるように一生懸命努力していきたいと思っております。

僕の趣味はラグビーです。高校・大学とラグビーをずっとやってきたことは僕の誇りです。2019年はワールドカップもあり、日本でもかなり盛り上がりました。ラグビーの精神である「ノーサイド」は、



ラグビーの試合終了を指す言葉で、その瞬間、敵と味方の垣根がなくなることを意味します。スポーツは対戦相手がいて初めて成り立つことから、相手への敬意を重んじるという精神で、どこか日本の武士道にも通ずるようにも感じられます。僕はこの精神を大切にし、日々の仕事をしております。

今はまだ完全に栃木に戻ってきていない状態ですが、父の勧めもあり、今回入会をさせていただきましたので、できる限り積極的に歯科医師会に参加するよう心がけていこうと思っております。初の平成生まれの会員と聞いていますので、まずは会員の先生方に顔と名前を覚えていただけるように頑張りたいと思います。

まだまだ未熟なところも多々あると思いますが、精一杯頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

医療法人 早川歯科医院
早川 大地